



病理診断部

<http://www.jichi.ac.jp/pathology/>



◎ 年末年始の受付体制について

2025年も師走に入り、一段と忙しい時期となりました。病理診断部は以下の通りに年末年始の受付をいたしますので、宜しくお願ひ致します。

年末年始 受付体制

	12月27日	12月28日	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日
	土	日	月	火	水	木	金	土	日
剖検	○	×	○	×	○	×	○	×	○
組織診	△	×	△	×	△	×	△	×	△
細胞診	△	×	△	×	△	×	△	×	△

○：受付可 ×：受付不可 △：基本的に受け付けはしない

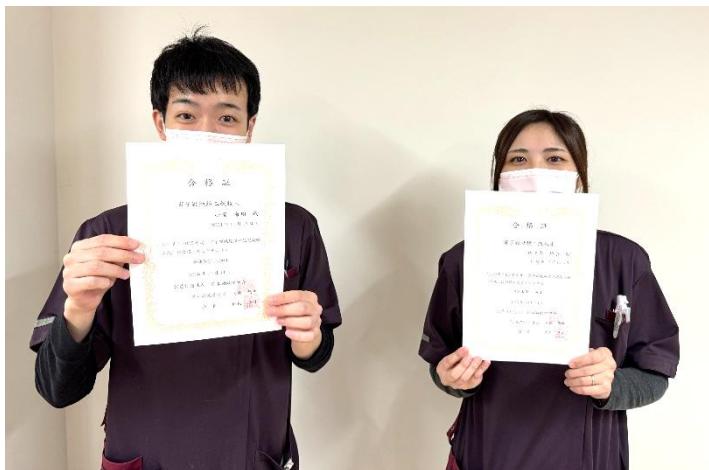
受付時間：8:30～15:00 連絡先：2257（内線）または18218（PHS）

※緊急の検体提出時は電話連絡をお願いします。連絡が取れない場合は、[ホルマリンに入ったものは室温保存、細胞診検体は冷蔵保存](#)し、受付対応可能日に提出してください。特に、胆汁・膣液・髄液などの細胞診検体は細胞が変性しやすいため、検査不能となる可能性がございますので、ご了承ください。

※受付不可日には原則として検体は提出せず各部署で上記に従い保管していただき、翌受付日にご提出ください。

◎ 電顕二級試験合格

佐々木玲奈技師と小室海翔技師が10月に行われた電子顕微鏡技術認定試験（二級技士）を受験しました。佐々木さんは電顕室配属4ヶ月での挑戦、小室技師は病理二級とのW受験となりましたが、二人揃って無事に合格しました。これからも益々の活躍に期待してください！！



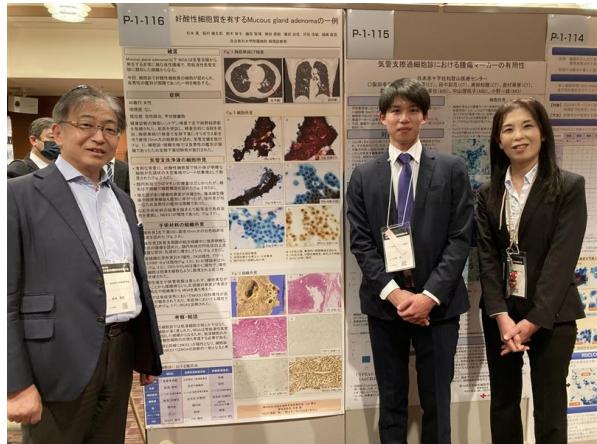
～二人からのコメント～

皆様のおかげで無事合格することができました。より一層精進して参ります。

佐々木 & 小室

◎ 学会口演＆ポスター発表

第64回日本臨床細胞学会秋期大会が広島県で開催され、福嶋部長がワークショップの座長を務め、自身がオーガナイザーである「PathPort」での病理医・細胞検査士育成の取り組みを、さらに柳田技師が「細胞診人材育成」をテーマに自治医大における細胞検査士教育体制について発表しました。杉本技師は「好酸性細胞質を有するMucous gland adenomaの一例」でポスター発表をしました。



発行元：自治医科大学附属病院 病理診断部（内線2257）

編集：岡田啓祐、小室海翔、佐々木玲奈、宮澤夏帆、

飛田野清美、福嶋敬宜